

伴学区 社協だより

発行 伴学区社会福祉協議会
住所 〒731-3164 安佐南区伴東7丁目64-8
電話 082-848-3277

あなたのそばに私たちがいます

「相談の拠点スタッフ いこいの家に4人を配置

伴社協は、管理運営する沼田老人いこいの家に事務所を置き、みなさんが住み良い地域づくりを進めています。拠点性を高めるため、スタッフを置いてみなさんの困りごとや地域の課題を気軽に相談できるように努めます。

(総務部会)

広島市社協から本年度の地区社協活動拠点活性化支援を受けて体制を整えました。月、水、木、土曜の午前中、拠点スタッフを相談員として四人が交代で待機。みなさんのお越しや電話をお待ちします。

住民主体型生活支援サービスを始めたボランティアバンク「とも」、福祉のまちづくりに賛助会員が増える「みんなの善意銀行」、社協を窓口にしたコロナワクチン接種予約代行など、各団体と協力した新たな活動が広がっています。伴会長は「社協は福祉に関わる地域のみならず、各団体のまとめ役。社協の枠を超えた地域の課題の対応に連携の輪を広げたい」と強調します。

評議員会

三年ぶり開催

伴社協は六月、令和四年度評議員会を開き、一般会計予算案など三議案を原案通りに承認しました。コロナ禍によって二、三年度書面審議が続いた評議員会の開催は三年ぶり、評議員三十八人（委任状十九人）が出席しました。

一般予算総額383万2010円。前年度実績より58万8330円増としました。収入面では、町民（二千八百八十九世帯）が町内会経由で納める会費（一世帯二百円）を60万円見込み、学区社協活動拠点整備事業費5万円など。支出面で大型テレビ購入費15万円などを計上しました。



あいさつする伴会長（6月4日・いこいの家）

みんなの善意銀行の予算総額は、前年度実績より22万3139円増の431万8599円。収入面で賛助会員年会費90万円（個人30万円、法人60万円）、支出面で敬老会補助金40万円、団体育成費23万円などを計上しました。

第11回伴社協グラウンドゴルフ大会 3月5日開催

福祉とは普段の暮らしの幸せです

通院困難者「とも」が介助支援

ボランティアバンク「とも」は地域包括支援センターと連携し、住民主体型の生活支援訪問サービスをしています。通院が困難な方の同行介助サービスを本年度から始めました。（「とも」事務局）

この通院支援の依頼は現在高齢者一人。福祉委員の二人が介助支援をしています。



車の送迎はできないため、本人に医療機関までタクシーで来てもらい、介助者二人が受付へ案内。段差もあり歩行の介助が必要です。受診後に薬局へ。近くで買いたい物も一人が付き添い、名指しの食品を入手。本人も「安心して通院でき、食べたいものも食べられる」と感謝しています。

ひとり暮らしや高齢世帯等の皆さんで、日常生活でお困り事があ

れば遠慮なく連絡して必要な支援を受け、地域の皆さんとのかかわりの中で、一日でも長く健康で自立した生活を送りましょう。

連絡先

戸山・伴・大塚地域包支援センター
電話 八四九一五八六〇

沼田老人いこいの家
電話 八四八―三二七七

福祉委員 顔合わせ

コロナ禍で中止していた伴社協の福祉委員研修会が十一月、老人いこいの家で三年ぶりに開かれ、福祉の担い手が一堂に会しました。（福祉委員部会）

各町内会の福祉委員二十八人が顔合わせ。社協や町内会連合会の役員、民生・児童委員協議会の来賓と意見の交換、「みらいちゃんショップ」（第一、三木曜・火山館）に出席する太田川学園の藤井紀子理事長



3年ぶり研修交流(11月17日・いこいの家)

の講演がありました。自己紹介し合った福祉委員の中には、各地区のサロンの世話、お年寄りの見守り活動や訪問支援への参加者も。来賓から「福祉の『ふ』は普段の暮らしの幸せ」と激励され、役割の大切さを感じ取りました。

第二部でフロンティー博さん、山笑亭こよんさん夫妻の手品と落語も楽しみました。

各地区の福祉委員の名簿を四面に掲載しています。



地域のみなさんでラジオ体操をする伴中央の平木「げんきかい」（会員十五人）が、かんぽ生命から本年度ラジオ体操優良団体の県表彰を受けました。伴地区初の優良団体表彰です。



みんな げんきかい

伴社協が提唱する夏休みに小学生と住民参加のラジオ体操が縁で平成二十六年、通年の体操会「げんきかい」が平木橋下の河川敷で始まりました。伴地区十二カ所に増えた「げんきかい」で最も長い歴史を誇ります。子どもに積極的に声を掛け、「げんきかい」に不参加の方がいれば、自宅を訪ねて元気な姿も確認。コミュニティー活動の全般が高く評価されました。

(高齢者福祉部会)

広がる地域の支え合い

「はぐくみ食堂」 銭湯の雰囲気で人気

だれでもOK。おいしいカレーを食べに来てね！沼田公民館を会場にした「はぐくみ食堂」が、地域のみなさんに支えられ、幅広い顔触れの利用者でにぎわっています。

十一月二十日。友達と来た中学生、赤ちゃん連れの家族、高齢者仲間、一人で訪れた若者らが来場。「大勢での食事は格別の味」「気兼ねがいらぬ」の声が聞かれました。

少年を育む安佐南区民の会が六月、第一号の食堂を伴地区に開設しました。最初二十六人の来場者は九月五十人、十一月九十五人と増加。上寺浩二代表は「子どもに限定せず」に良かった。リピーターが多いとみています。

地域の居場所づくりで全国に広がる子ども食堂。垣根を超えた昔風の交流の場といえば「銭湯」。その趣の心地よさや温かい雰囲気も「はぐくみ食堂」成功の秘密のようです。



いい味だね(11月20日・沼田公民館)

この日使ったカボチャやサツマイモ、柿も地元の農家やスーパーから提供されました。料理から子どもの遊び相手までする十数人のボランティアの多くも地元への応援。福祉のまち伴らしい支え合いの心と細やかな気遣いが息づいています。

第三日曜日、午前十一時から午後二時まで。参加費一人百円。

(広報部会)

コロナに負けず

健康運動

コロナ禍で虚弱化の進行が心配される高齢者。自宅でも手軽にできるストレッチ体操を中心にした介護予防運動教室が、老人いこいの家で開かれ、みなさんに好評です。

講師から、椅子に座ったまま、布団に寝たままでもOKの健康運動を伝授。「深呼吸も心のストレッチ」などの助言に約二十人の参加者も納得顔です。



虚弱化をストップ(いこいの家)

ボランティアすみれの運営で第二、第四金曜日午前十時半から。コロナ禍で一時休止後、八月再開。普段の運動の効用が一層見直されています。

広域公園まつり

初開催

沼田地区の四つの神楽団が十月十六日、エディオンスタジアムにそろった第一回広域公園まつりに三城田神楽団が出演しました。

サンフレッチェの本拠地移転を見据えた新たなイベントとして伴・大塚地区コミュニティ推進協議会を中心にした実行委が主催。三城田神楽団は、スタジオ内に設けたステージで「土蜘蛛」を上演しました。進行役も安佐南区の大学生たち。広域公園まつりのもようは、動画サイト「ユーチューブ」で配信され、ネット経由で視聴できます。

(伴学区町内会連合会)



三城田神楽団

みんなの善意銀行 伴のもやい結び

みんなの善意銀行は、地域の福祉活動や貢献活動を幅広く支援しています。

本年度は団体育成費（九団体）や敬老会助成金（千五十二人）のほか、健康づくり委員会に十七万円、法人の賛助会員に火事見舞い金一万円を助成しました。委員会は七月、高齢者の虚弱化や介護予防の活動を目的に関係団体で発足しました。
新たな助成金申請についても、伴地区の社会福祉施設、団体、ボランティアグループ等呼び掛け、助成金の申請団体を募っています。（事務局）



私はみらいちゃん
善意銀行のウサギのマスコット。身長一七〇センチぐらいの方まで入れます。歩いたり、座ったりできます。手の操作もOK。暑くありませんよ。

★賛助会員
みんなの善意銀行の令和四年度賛助会員登録数は十一月末現在、個人会員（一口千円）が百四十八人。企業・団体（一万円）は二十九団体です。

▼一般寄付者

- ◎ 楽々デー・カラオケグループが六月、1万8956円を寄付。
- ◎ 伴中央おやじの会が七月、4300円を寄付。
- ◎ 大原台の藤井啓子さんが七月、死没した夫が老人いこいの家囲碁会でお世話になったお礼に1万円を寄付。
- ◎ 三城田の川本一之さんが十一月、内祝いに1万円を寄付。

▼香典返しにかえて

- 町内会 寄付者御芳名 死没者名
- （令和四年四月～四年十一月）
- 大原 森本 貞江 弘
 - 広陵 川野 千代子 勉
 - 上伴 山口 猛 律子
- （敬称略）

おめでとつございます

広島市社会福祉協議会会長表彰

伴社協 池田 美代子

安佐南区社会福祉協議会会長表彰

伴社協 上野 昭司

令和四年度社協役員のみなさん

- 会長 伴 晴英
副会長 川本 一之
兼善意銀行事務局長 池田美代子
兼福祉委員部部长 有馬 義憲
兼高齢者福祉部部长 西田 雅行
地域福祉推進委員 稲葉 憲治
事務局長 山田 初則
會計 塚本 一
総務部部长 中村 晴男
広報部部长 圓山 文雄
障がい者福祉部部长 石富 三弘
児童福祉部会 中本 力夫
ボランティアバンク 事務局 上野 昭司
福祉委員 副部長 国光 克恵（三城田）
【奥畑】山田 敏枝▽玉代 久子▽平本 克枝▽香川 道子▽引地 葉子
【上伴】木村 恵子▽薬師 小壽枝
【伴中央】田中 操▽西尾 満寿子▽中川 美穂子
【三城田】田所 和子▽中本 ひとみ▽松田 暁枝
【大原】有馬 美枝子▽岡本 純子
【グリーンヒル大原】網本 美紀子▽

通信 赤い羽根共同募金



伴社協は十一月二十三日、フレスト沼田店で募金活動を行いました。地域の福祉向上に各団体が応援します。三月末まで老人いこいの家の事務所で募金を受け付けます。

- 長本 千恵
- 【ライオンズM大原】加藤 栄治
- 【雲願寺】岡島 馨▽柿本 公
- 【細坂】天王 あつ江▽有馬 智映子
- 【広陵】原 信子▽小川 眞智代▽前川 澄江
- 【大下中畑団地】岡松 キヌコ▽白井 富美子
- 【瀬戸内苑団地】西原 雅子▽西山 ヨシミ
- 【寿団地】高矢 勢津子▽森川 雅江▽城本 ともえ
- 【若葉台】岩崎 静子▽濱中 綾子（敬称略）

伴あんしんネット

一人暮らし等の高齢者登録者を近隣の協力が見守ります。いつもの挨拶、さりげない声掛けで寄り添います。
地域包括支援センター内
伴あんしんネットの会
電話（八四九）五八六〇